

## 形式言語理論 (0510002) 第 11 回講義 ハンドアウト (2015/1/9)

蓮尾 一郎 (理学部情報科学科 講師)

<http://www-mmm.is.s.u-tokyo.ac.jp/~ichiro>

### 1 今回の講義の内容

2 回前に配布の資料を使って pushdown automaton (PDA) について .  
そのあと教科書第 4 章 (Turing machine)

#### レポート課題 (復習問題)

今回はなし!

### 2 今後の講義予定

- 2015.1.23 (Fri) 上の残りの内容と, 質問セッション
- 2015.1.27 (Tue) 期末試験
- 2015.3.30 (Mon) 10:30-12:00, 理学部 7 号館 102 教室 (予定): 追試

### 3 期末試験について

2015.1.27 (Tue), 14:50-16:20 .

過去問を勉強してくるとよいです (教科書の巻末). 要チェックポイント:

- 「アルゴリズムを与えよ」と言われたら, 教科書のアルゴリズム 2.1 (p. 53) のような擬似コード (あるいは一般的なプログラミング言語でのコード) を与えられればいちばん良い。「こうやってこうやって」という自然言語での説明でもまあ良い。  
ただ, そのアルゴリズム (= 「手順」) は, 何も考えずに実行できるものでなければいけない。
  - 「NFA  $M$  が語  $w$  を受理するか判定する」というのはアルゴリズムとは言いがたい。(分岐したときどうする?)
- 「これこれの DFA を与えよ」というふうな問題は, 必ず「最小の DFA を与えよ」という形で出題します。
  - なので, アルゴリズム 2.1 (p. 53) を使えるようになっていないとダメ。

### 4 追試について

- 期末試験の結果単位がとれそうにない人には, 追試を行います。
- 追試の日程・場所: 2015/3/30 (月), 10:30-12:00, 理学部 7 号館 102 教室 (予定, 講義のウェブページ確認のこと)
- 問題は簡単で, 基本がしっかりできていますか見ます。なので, かなりの部分できないと単位はきびしい (8 割が目安)。
- 希望者に対しては, 試験後できるだけ早く講義のウェブページに「いい感じの番号」を掲示します。そこに番号がなかったら 3/30 の予定は入れないほうがいいかもしれません。